

資料提供
 令和7年2月6日
 課名 健康危機管理課
 (感染症・疾病管理センター)
 担当者 片平
 電話(直通) 082-513-3079
 (内線) 3079

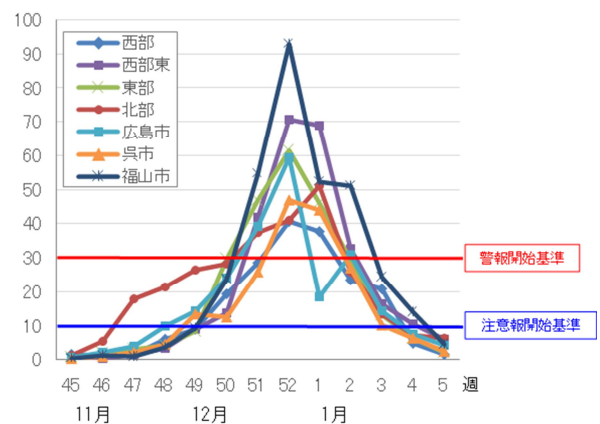
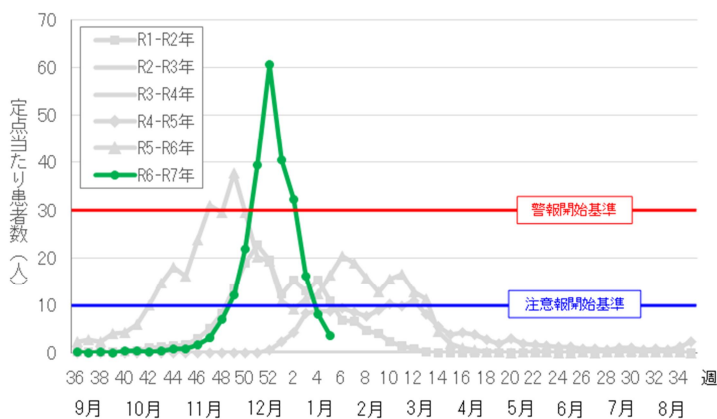
インフルエンザ警報の解除について

広島県感染症発生動向調査による令和7年第5週（1月27日から2月2日）の定点医療機関（117施設）からのインフルエンザの報告患者数が、県内すべての保健所管内（7保健所）で国立感染症研究所が示している警報継続基準値（定点当たり10）を下回ったため、令和6年12月26日に発令したインフルエンザ警報を本日（令和7年2月6日）解除（注意報を含む）します。

なお、患者数は減少してきていますが、今後も基本的な感染対策と体調管理に努めていただくようお願いします。

【広島県の今シーズン（令和6年～令和7年）の概要（令和7年2月6日現在）】

- 令和6年11月21日に流行入り、12月5日に注意報、12月26日に警報を発令していました（いずれも過去10年で3番目に早い）。
- 流行のピークは、令和6年第52週（12月23日～12月29日）の定点当たり60.56で、調査が始まった1999年以降で最多となりました。
- すべての保健所管内で警報開始基準値（定点当たり30）以上となり、特に福山市保健所管内では、令和6年第52週に定点当たり92.89まで上昇しました。
- 患者数が増加及び減少するペースが非常に早く、過去10年で最も短い警報発令期間（42日）となりました。
- 検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型が主流でした。
- 年齢階層別の報告数累計割合は、10代以下が6割以上を占めていました。
- インフルエンザ様疾患（新型コロナを除く）による学級閉鎖等の報告数は、令和7年第5週時点で延べ330件で昨シーズン同時期より少なく、また、最も報告数が多かったのは、令和6年第51週（12月16日～12月22日）の111件で、懸念された冬休み明けの再拡大は確認されませんでした。



● 県内の流行状況 【令和7年第5週（1月27日～2月2日）】

保健所名	県保健所				広島市	呉市	福山市	県内計
	西部	西部東	東部	北部				
定点当たり患者数(人)	1.50	6.00	2.13	6.17	4.14	2.31	4.50	3.59
報告患者数(人)	24	60	32	37	149	37	81	420
定点医療機関数	16	10	15	6	36	16	18	117

※ 報告患者数：県指定の医療機関（定点医療機関）から1週間ごとに報告される患者数
 定点当たり患者数：定点医療機関からの報告患者数を定点医療機関数で割った値

インフルエンザについての詳しい情報は、次のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>